

「北区の魅力発掘・発信・創出について」意見聴取の一覧

1 「魅力」にはどんなことが含まれますか。

No.	意見内容	意見者
1	<ul style="list-style-type: none"> ○文化会館などそのまちにあるインフラ ○人々が自由に集い使えるような場 ○公園など日常生活で憩いになるもの 	天野構成員
2	<ul style="list-style-type: none"> ○人：笑顔、やさしさ、人柄等 ○生活：交通の利便性、買い物の便利さ、地域コミュニティの存在、高齢者・子ども・障害者にやさしい街、安心・安全な街等 ○その他：緑、豊かな自然、歴史資源・文化資源が多いこと、街並みの美しさ等 	魚谷構成員
3	<ul style="list-style-type: none"> ○「わたし」や「あなた」が一人で楽しい、「みんな」で、家族で、ご近所で、友達と、仲間と、それぞれで楽しいことが行われている場所があることが北区の魅力だと思う。 ○大泉緑地や金岡公園、近所の大小の公園がそれぞれの「楽しい」の舞台となっていれば、公園も北区の「魅力」として大事なものになる、もしくは、なっていると思う。 	加我座長
4	<ul style="list-style-type: none"> ○通勤、通学などの交通の利便性 ○公園をはじめとする緑、自然などの豊かさ ○古墳、街道や祭りなど歴史的資源の豊かさ ○安心、安全な笑顔で住める街 	金戸構成員
5	<ul style="list-style-type: none"> ○自然、歴史・文化、生活、観光施設など ○有形資源だけでなく無形資源も対象になる。 ○様々な活動、語り、音楽、イベント・祭り、ユニークな教育など ○季節ごとに魅力が変化するものも捉えること。 	清水構成員
6	<ul style="list-style-type: none"> ○町の文化や歴史、名産品 ○住みやすさ <ul style="list-style-type: none"> ①子育て支援などが、フォーマルだけでなくインフォーマルなことも活発であること。(自治体独自の支援・その他のサポートが整っている) ②町の景観(ごみが落ちていないなど)、街並み ③交通の便が良いこと ④色々なお店、サービスを提供する場があること ○市民にとっての好きな場所(きれいな景色が見られる場所、美味しい食べ物が食べられるお店、安らげる場所、楽しめる場所など) ○市民の雰囲気、町の空気(それらを作り出す町の人々自身) 	竹内構成員
7	<ul style="list-style-type: none"> ○緑が多く、街並みがきれいである。 	長尾構成員

	○区役所が充実している。	
8	○交通便利 ○商業利便 ○安全安心（防犯・防災・医療の充実） ○多様性(街並み、世代) ○文化的、住民同士の交流が活発で活気がある。	羽根構成員
9	○ご近所とのコミュニケーションが薄まる傾向ではあるが、子育て中の家族や高齢者にとって、隣人とのコミュニケーションが深まる方が、住みやすい魅力あるまち、というイメージがある。 ○区民だけにターゲットを絞らず、他の住民が北区を知り、「住んでみたい」と思わせる。	坊農構成員
10	○訪れたい魅力 他の地域の方が北区を訪れたい魅力で、美しい風景、歴史的な町並み、イベント等 ○住みたい魅力 他の地域の方が北区に住みたいと思う魅力で、便利で暮らしやすいまちのこと ○安全なまちとしての魅力 ここでいう安全とは、犯罪や災害から安全というだけでなく、いじめや差別、疾病など、あらゆる暴力（人間の尊厳を脅かすもの）から安全ということ ○つながりやすい魅力 人と人がつながりやすく、かつそれを強制されない魅力のこと	八木構成員
11	○交通インフラが整っている → 利便性につながる ○まちがきれいである（ゴミがあまり落ちていない） → 安心安全につながる ○公園・緑が多い → 住みやすさにつながり、さらに整備が進むことで安心安全につながる	吉村構成員
12	○住みたい街と訪れたい街では「魅力」の方向性が違い、住みたいなら「安らぎ」「憩い」というキーワードが、人を集めるには「楽しさ」のような引き付けるものが上位になる。 ○どこに力点を置くのかを設定したうえで、北区の歴史や文化、風土、環境、住民の人口構成などから他所にない部分をピックアップしてはどうか。	佐藤特別構成員
13	○住みやすいまちのための魅力としては、自然や公園、活性化している商店街などがある。 ○子育て世帯にとっては、子育て支援センターなどの遊びや交流の場も、孤立せずつながりを感じながら子育てができるということから、住み続け	藤木特別構成員

	<p>るための魅力と言える。</p> <p>○若い世代の増加はまちの活性化を促し、まちが明るくなり魅力へつながる。</p>	
14	<p>○住環境としては、交通も発達しており、スーパーや病院なども充実しているので、十分魅力があると思う。</p> <p>○プラスアルファとして、子どもが楽しめるようなコンテンツの存在（動物、乗り物）は、子どもが愛着を持つことにつながると思う。大人の好奇心を満たすコンテンツの存在（各種講座やワークショップ、まちあるき等の催しなど）は、魅力の一つに加えていけると思う。</p>	堀川特別構成員

2 令和3年度の事業（基本方針3）について

■（別紙1）①-1【新規】北区役所公式インスタグラム「北区・みんなで写真日記」に対するご意見をご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	○良い試みだと思う。ただし、発信できる対象が限られているため、様々な手法を取り入れることが必要である。	天野構成員
2	○投稿数を増やすために、投稿を審査し上位何名かに堺の産品（北区の特産品）を景品として提供してはどうか。 ○オンラインだけでなく、写真とコメントの郵送も受け付けてはどうか。 ○応募案内のポスター、チラシの配架先、枚数の検討が必要である。	魚谷構成員
3	○素敵な取り組みだと思う。北区の素敵な写真とその場所に関するエピソードに親しみを感じている。もっと素敵な写真とそのエピソードが増えればと期待している。	加我座長
4	○日常の何気ない一コマを写真で発信することにより、「北区にこんな場所があるんだ」「きれいだな」「今度行ってみたい」など心を動かされて良いと思う。	金戸構成員
5	○市民で魅力を共有するためのアイデアとして、とても良いと思う。 ○スマホで簡単に写真をInstagramにアップできるので、手間がかからない。 ○Instagramを気軽に使う若年層への普及をすることが必要である。 ○Instagramは文字を書くのに適していないが、現在アップされているものは文章が丁寧で長い。これを見せると、自分が投稿するときも文章が必要なのかと考え、特に若年層の習慣と異なるので、やめてしまう可能性もある。 ○表題も必要だろうか。楽しんで自由に投稿するという場に思えないため、利用者はある程度限られるかもしれない。 ○当初の7月分では文章のない投稿が上がっている。このように、もう少し自由感があれば良い。	清水構成員

6	<p>○ハッシュタグをつけて投稿している人は、10代20代の方や学生よりも、子育て世代の方や写真を撮ることが好きなような方が多いと感じた。</p> <p>○高校生や大学生にもタグ付けして投稿してほしいとすると、漠然と全世代に向けてInstagramのことを広報するのではなく、社会人と学生は分けて広報することも必要であると現役の大学生として感じる。</p> <p>○地域愛を育むことは、特に学生に対して重要なことだと思うので、学生の利用者を増やすことに特別に取り組むこともいいのではないかと思う。</p> <p>○学生のいつもの投稿に「#北区みんなで写真日記」を「ついで」という形で気軽につけてもらえるようになってほしい。</p> <p>○区役所公式Instagramを学生がフォローするかどうかと考えると、匿名性を持たせておきたい人もいると思われ、誰をフォローしているかが他者に分かるような状態では、フォローまではしないかもしれない。そのような人がフォローするとしたら、匿名の別のアカウントを作ってからではないだろうか。</p> <p>○フォロワー数の目標を持っているのか、町の魅力発信や地域愛に対して意識が高い人だけでなく、その意識が低い人にも届いてほしいと思っているのか、Instagramがどこまで大きくなってほしいか、といった区役所の思いによって、Instagramの周知や運用が違ってくるのだと思う。</p> <p>○区役所のアカウントをフォローさえしてしまえば、タイムラインに自動で流れてきて情報を受け取ることができる。投稿はしなくても他の人の投稿が届くことでも十分意味はあると思う。</p>	竹内構成員
7	<p>○いろんな知っている場所の写真があると、親近感がわき嬉しくなる。</p> <p>○知らない情報とよく知っている情報を織り交ぜても楽しいと思う。</p>	長尾構成員
8	<p>○今後どこまで投稿やフォロワーを増やすかが課題である。</p>	羽根構成員
9	<p>○Instagramを見たが、注目を集めるような写真がない。「これが堺市北区だ!」と分かるスナップ写真や「こんな場所に、子どもを連れて行ってみたい」と思えるような写真をもっと多く紹介すると良い。</p>	坊農構成員
10	<p>○SNSを通じて発信するのは素晴らしいことである。</p> <p>○今後はこれをより多くの方々に知っていただき、市民の間で共有化していくことが大切。そのためには、PRもしていく必要がある。</p> <p>○風景だけでなく、町並みや人の活動も掲載してはどうか。風景は何年たっても変わらないが、町並みや人は時の流れで随分変わるので、貴重な資料になる。</p>	八木構成員
11	<p>○発信する方にとっては、地域への愛着の醸成につながる。</p> <p>○見る方にとっては、北区をよく知っている場合は愛着が醸成されるが、</p>	吉村構成員

	<p>転入者等の北区をよく知らない場合は写真だけ見ることにメリットが薄いように感じる。</p> <p>○スタートアップ時はフォロワー数を増やす必要があるため、このコミュニティをフォローするとどれだけ良いことがあるのかを知らせる必要があるように思う。</p> <p>○長くそのコミュニティにいと、「たくさんの人に見てもらえる」「自分も役立つ情報や素敵な写真をアップしたい」などの理由で自分から写真をアップする人も多くなるのではないかと。</p> <p>○「その場所に足を運んでみたい」といった憧れに似た気持ちを持てたり、現実的に行けると判断できたりするような情報が必要ではないか。例えば、期間限定のイベントがある、子どもには特典がある、この時間に行くとは一番きれいであるなどといった情報で、「その場所に行ってみよう」という気持ちになるのではないかと。また、営業時間、徒歩や自転車での所要時間、子ども連れは行きやすいのか（トイレや休憩場所の有無）といったことは、現実的に行けると判断できる情報も必要に感じる。</p>	
12	<p>○もうひとつ目がとまるものがないような感じ。行政としての制約もあるから仕方ない面もあるが、街の息遣いというか動きも乏しい。</p>	佐藤特別構成員
13	<p>○インスタグラムで区民から収集した写真などをパネルに仕立て、1日楽しめる催しで展示し、つながりづくりに活用すると良いのでは。若い方を対象とした催しであれば、若い方の中で交流が生まれ、高齢者対象の催しであれば、高齢者の中で交流が生まれる。難しいとは思いますが、将来的に若い方と高齢者との交流、つながり、楽しみが生まれれば良いと思う。</p>	藤木特別構成員
14	<p>○インスタグラムで紹介された場所に関する見学会や講座を開設すれば、写真以上の魅力を区民に伝えることができるのではないかと。例えば、高林家住宅をテーマに周辺の歴史や建築様式の講座、大泉緑地の蓮やカキツバタをテーマにした花の講座、金岡神社のまち歩きと歴史解説の講座、堺カルタ大会など、いろいろな企画が考えられる。これらの企画に参加することにより、これらの魅力へのさらなる理解が膨らむのではないかと。</p>	堀川特別構成員

■（別紙2）①-2【新規】地域 SNS アプリ「ピアッツァ」北区エリアを活用したバナーイベント「北区・みんなの魅力図鑑」に対するご意見をご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	<p>○インスタグラムと同様に、手法の一つとしては良いとは思いますが、SNS 以外の手法も検討すべきである。</p>	天野構成員
2	<p>○目的、ねらいは良いと思う。インスタグラムと同じく、投稿者にインセンティブがあれば、投稿数の増加につながるのではないかと。</p>	魚谷構成員

3	<p>○メッセージがつながっていく様子がいいと思う。</p> <p>○いろんな話題があり、例えば、素敵な飲食店やお店の紹介、また、出来事など、身近な地域の話題が発信されて、共有され、それぞれの毎日の暮らしが楽しくなっているように思う。</p>	加我座長
4	<p>○季節ごとにテーマを決めてそれに対して投稿する、見た人が「いいね」やコメントをすることで盛り上がり良いと思う。</p>	金戸構成員
5	<p>○試みとしては、とてもおもしろい。情報を求めている人にはヒットすると思うが、マスを対象にするのは難しいかもしれない。</p> <p>○こちらの問いかけに反応して動いてくれる住民のグループを作ることが目的にすれば良いのでは。</p>	清水構成員
6	<p>○投稿例を見るとコメントでの交流がとても楽しそうに感じた。投稿数は10数件であるが、一つひとつの投稿に市民それぞれの地域愛が詰まっています。魅力的な図鑑になっていると思う。コメント交流が盛んな投稿もあるので、投稿に対する反応がもっと増えたらいいと感じる。</p> <p>○町の魅力を分かち合い、ひとつの図鑑を一緒に見て気軽に話し合えることで人と人のつながりをつくり、共に北区を盛り上げていこうとする「仲間」になっていくと思う。</p>	竹内構成員
7	<p>○とても素敵だと思う。私も積極的に参加したいと思う。</p>	長尾構成員
8	<p>○いろんな参加者が増えるといいものになると思う。</p>	羽根構成員
9	<p>○インスタグラムとのすみ分けは、季節ごとにテーマを決めるということだと思う。インスタグラムにおける意見と同じであるが、多くの方にPRすることと、町並みや人の動きも発信していければと思う。</p>	八木構成員
10	<p>○インスタグラムでの意見と同様</p>	吉村構成員
11	<p>○テーマがある分、インスタグラムより志向性が感じられ、楽しい写真が集まるのではないかと。</p> <p>○若い方に遊んで使ってもらえば、もっと違う交流の場が生まれる可能性があり、どのような仕掛けを考えていくかが重要ではないかと。</p>	佐藤特別構成員
12	<p>○インスタグラムでの意見と同様</p>	藤木特別構成員
13	<p>○投稿された見どころをテーマにした企画の実施などに活用できるのではないかと。</p> <p>○セミの投稿など、風景とはちがった投稿も多数あるので、これらの投稿に因んだ親子で楽しめるセミ取りの企画なども考えられる。セミ取りの企画に昆虫の専門家が現地でいろいろと解説をしていただければ、子どもが楽しめる個性あふれる区といったイメージが少しずつ定着していくのではないかと。</p>	堀川特別構成員

■ (別紙3) ①-3 北区まちづくりカフェ「写真で語ろう 北区の魅力」に対するご意見をご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	○写真を撮られている方々がグループとして参加する取り組みであるように感じる。区役所で過去に実施していた「写真展」のように、区役所が主体となって発信するような取り組みが必要である。	天野構成員
2	○InstagramやピアZZの活用以外に、写真を持ち寄った対面での語り合いも、コロナ禍においては制約があるが、対象（年齢、男女を問わず）を広げることが出来るので、大いに活用すべきと思う。	魚谷構成員
3	○自慢の写真とエピソードを持ち寄り、地域のことについて、楽しく会話されることを楽しみにしている。 ○持ち寄られた素敵な場所をみんなで実際に訪れて、まち歩きをしながら、その場所でエピソードを共有したり、場合によっては、おいしいものを食べたり、一緒に体験するのも良いのでは。	加我座長
4	○コロナ禍で多人数で集まることは難しいが、少人数で感染対策をとりながら、顔を見て意見交換をできる場は大切だと思う。	金戸構成員
5	○とてもおもしろい取り組みであると思う。最初はテーマを広くして、いろんな意見を吸い上げることが重要である。 ○何回かの集まりで時間をかけ、KJ法を使い、いくつかの大テーマに絞っていけば良い。 ○今年は写真が集まるので、そこで傾向も出てくるのでは。それから分析、課題の発見という進め方を考えているのだろう。	清水構成員
6	○未だ知らない街の魅力やその人が魅力に感じたことを実際に語り合うイベントは、何年か住んでいる人にとっても新鮮でいいものだと思う。 ○すでに魅力をよく知っている人からまだ町のことをよく分かっていない人への語りはなされているのか気になる。転入者などの北区のことを知らない方がたくさんいると思う。知っている人同士の語り合いだけでなく、知らない人との魅力共有やつながりの場にしてはどうかと思う。	竹内構成員
7	○以前、子ども会議をテーマにしたまちづくりカフェに参加したことがあり、やはりリアルで会うことは大切だと思う。	長尾構成員
8	○このような講座の企画は、スキルアップと交流の場としてとても良いと思う。日程が合えば参加したい。	羽根構成員
9	○オンライン上のみならず、このようなオフ会があるのは良いことだと思う。 ○このようなリアルイベント（オフ会）とピアZZが連動できているような仕組み作りが重要だと思う。	坊農構成員
10	○それぞれの取り組んでいることや情報を共有化できていいと思う。同じようなイベントが、他の地域でも行われていることが多々あり、参考になることもたくさんあると思う。そのような意味では、参加者だけでなく、より多くの方々に発信できればと思う。	八木構成員

11	<p>○良い取り組みだと思う。インスタグラムとピアッザと違うポイントは、テーマが分かれて明確になっていることである。その限られたテーマ内で参加者が話し合うことができるので、盛り上がりやすい。</p> <p>○オフラインだけでなく、オンラインでも期間を設けてテーマを絞った投稿を集めると良いのでは。</p> <p>○全て参加者にゆだねるのはコミュニティの主旨がブレやすいので注意が必要である。</p>	吉村構成員
12	<p>○交流の場を作ることは一定の役割があるが、おそらく、参加者は中高年中心で固定化されていくと思われるので、一部の人のためのサークル活動にならない展開を考えていく必要がある。</p>	佐藤特別構成員
13	<p>○以前、区役所主催で「写真展」が実施されていたが、なかなか一般からは写真が集まらないという現状もあった。このような機会に写真好きな方から提供されれば良いだろう。</p>	藤木特別構成員
14	<p>○リアルイベントなので、写真に関わる専門家をお招きして、講座やワークショップを開催してはどうか。セミの抜け殻をきっかけにするのであれば、さまざまな昆虫の抜け殻、変態についての講座。古墳の話であれば、古墳についての考古学的講座など。単に楽しただけだけでなく、知的好奇心も満たせて、北区の魅力への理解が深まるのではないかと思う。</p>	堀川特別構成員

■（別紙4）①-4 北区広報紙における魅力の発信に対するご意見をご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	<p>○広報紙には公平性の観点から記事を掲載することが大切である。</p> <p>○地域活動等の紹介も必要である。</p>	天野構成員
2	<p>○広報紙による魅力の発信は、多くの人目に触れるので大切である。</p> <p>○広報紙による発信と共に、同内容をポスター、チラシ等で住民の目につきやすい場所（自治会掲示板、各公民館、図書館、商業施設等）に掲示するのも効果があると思う。</p>	魚谷構成員
3	<p>○北区広報紙でインスタグラム、ピアッザで収集した情報は、掲載してもらいたいと思う。情報発信の媒体は、これが一番のものではなく、多様であって欲しい。</p>	加我座長
4	<p>○SNS の活用も広げながらも、SNS を使用していない区民の方にも情報が伝わることは大切なことなので、広報での魅力発信も大切だと思う。</p>	金戸構成員
5	<p>○本年度現在の取り組みを紹介するという事で、良いのではないか。</p> <p>○北区の取り組みの現状を伝え、PR となるようなまとめ方をしてほしい。</p>	清水構成員
6	<p>○区役所からの投稿だけでなく、区民からの投稿も載せることで、アプリダウンロードなどの手間なく、手軽に魅力の共有ができていいと思う。</p> <p>○広報紙は、多くの人目を通すものなので、より幅広い人に届くと思う</p>	竹内構成員

	<p>が、中高生など学生はあまり見ないと思われるので、学生への期待は薄いのかもしれない。</p> <p>○SNS で地域の人が楽しく魅力を共有し合っているのを見せることは、SNS を始めるハードルを下げる一助になったり、地域の魅力を見つけ出すことへの興味を誘う効果があると思う。</p>	
7	○魅力の発信で北区が盛り上がり、他の区でも広がれば良いと思う。	長尾構成員
8	○インスタグラム、ピアッツァともに魅力発信という点では良いと思うが、個々の写真紹介だけのものがほとんどで、つながるという点では目的を果たせていないと思う。広報紙で発信、宣伝する場合は、市民が興味あることに参加できるような団体の活動紹介等をもっと取り上げるのが良い。	羽根構成員
9	○インフルエンサー的なコラムニストに SNS の紹介等の記事を発信してもらってはどうか。	坊農構成員
10	○広報紙は、SNS を使えない方にも発信できて、効果が大きいと思う。	八木構成員
11	○広報紙への掲載は良いと思う。「いいね、してください!」「フォローしてください!」などのコメントを入れるのも良いのでは。	吉村構成員
12	○公平性などの制約はあるだろうが、できるだけ一般の住民や店舗などおもしろいものを取り上げる姿勢を保ってほしい。	佐藤特別構成員
13	<p>○区役所が実施する事業については、広報紙で区民に伝わるように掲載することが大切である。</p> <p>○コンテストを開催した場合などは、その結果を含めた事業実施内容についても掲載すべきである。</p>	藤木特別構成員
14	○北区まちづくりカフェの紙媒体版としての活用もあるのではないかと。みなさんの投稿をきっかけとしたより深い説明など、北区の魅力の深さを実感できるようになるのではないかと。	堀川特別構成員

■ (別紙5) ①-5【新規】地域 SNS アプリ「ピアッツァ」北区エリアの活用についてご意見をご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	<p>○生産年齢人口の多い北区での活用は良いと思う。</p> <p>○テーマも一般から募集してはどうか。</p>	魚谷構成員
2	○身近な地域のこと、また、それぞれの暮らしの工夫、出来事やお店などが紹介されていて、大変、興味深い。	加我座長
3	<p>○地域で交流できる場を SNS 上で持つのは今のコロナ禍にとって有効だと思う。</p> <p>○個人の発信、「いいね」やコメントを書くことで交流できて手軽さが良いと思う。</p> <p>○商業目的はよくないかもしれないが、企業、お店のオープン情報やイベ</p>	金戸構成員

	<p>ント情報、学校や地域のサークル活動、ボランティア活動から地域の人々に発信したい情報も取りあげてくれたら、より多くの方に見てもらえるかと思う。</p>	
4	<p>○利用者ターゲット世代が、子育て世代ということなので、この基本方針になるだろう。</p> <p>○孤立しやすい世代なので、ターゲットとして合っているのでは。</p>	清水構成員
5	<p>○私もピアZZをダウンロードして以前友達と食事した写真を投稿すると、予想以上に♡のスタンプをいただけ、コメントもあり、地域の方々の優しさやあたたかさを感じた。</p> <p>○子育て世代のママの投稿が多く、男性の投稿もあるようだが、学生のユーザーも増やしていきたいのか気になる。学生のうちから子育てについて理解を深めたり、子どもと関わったりすることが大事で、子育て中の親も中高生などと関わりを持つことができれば、自分の子どもの今後のことにも役に立つかもしれない。ピアZZを活用して学生と小さな子どもを育てる親との関わりをつくることもいいのではないか。</p>	竹内構成員
6	<p>○広報紙のトップ面で大きくお知らせしてみることがいいと思う。</p>	長尾構成員
7	<p>○北区からのニュースを見ることができるのが良い。</p>	羽根構成員
8	<p>○まちの防災・防犯などの情報を加えてみてはどうか。</p> <p>○「お天気情報」等は、便利だと思う。例えば、大阪市内に勤務している住民が、お天気情報を見ることにより、「これから帰宅するけれど、これだと傘はいらないな～」などが分かる。</p>	坊農構成員
9	<p>○新しく北区に転入された方は、北区の情報に不案内なので、このアプリは助かると思う。また、長く北区に住んでいる方にとっても新しい情報を知らないこともあり、有効だと思う。</p> <p>○市民同士の情報交換で、本音も聞くことができ、いわば井戸端会議や公園デビューのネット版だと思う。</p>	八木構成員
10	<p>○つながることを目的にしているので、つながる人を集めることがスタートの肝になる。発信者側としても、10人のコミュニティよりも、1,000人のコミュニティの役に立ちたい、注目されたいと思っているのではないかな。</p> <p>○企業・地域の協力の下、インセンティブを与えるなど、コミュニティに参加してくれるようにスタート時は働きかける方法もあるのでは。例えば、コミュニティに登録でポイント付与、発信には抽選でプレゼント等も良いのでは。ただし、ただ投稿や情報を見ていたい人もいるため、全ての人に発信を義務付けないように留意する。</p>	吉村構成員
11	<p>○若い方は、アプリの新たな活用方法を勝手にあみだすと思われ、まずは使ってもらうためのインセンティブを考える。行政が「正しい使い方」を教えても、それには関心がないと思われ、アプリの活用も中途半端に</p>	佐藤特別構成員

	なる。	
12	○若い方が楽しめるような内容となると良い。	藤木特別構成員
13	○北区の職員がもっと小さなイベントなどもどんどん紹介していくべきだと思う。私も、最近、北区を訪れた時やいろいろな冊子を見たりした時などは、投稿できそうなことはないのか、イベントや催しはチェックするようにはしている。	堀川特別構成員

■その他、令和3年度の事業（基本方針3）に対してご意見があれば、ご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	○区民に還元できるような取り組み、現実味のある取り組みとしていくことが必要である。 ○参画者のすそ野を広げる取り組みの検討が必要である。	天野構成員
2	○「みんなで魅力を発信する」取り組みは充実し、楽しみにしている。 ○「みんなで魅力をつくる」は、発信された魅力が共有されることで、それぞれの「新たな魅力」となって、魅力がつけられることになると思う。さらに、「みんなで新たな魅力をつくった」の実感や体験が報告されることを楽しみにしている。	加我座長
3	○北区の魅力が「たのしい」を軸に一人ひとりの点がつながり、線になっていくのが良いと思う。	金戸構成員
4	○まずは各住民が感じる魅力を調査するために、今回の方針設定がなされていると思う。写真を使い、気軽に自分の意思表示ができる仕掛けづくりはとても良いと思う。本年度でまずそれを実験的に試してみるという戦略は、理にかなっていると感じる。	清水構成員
5	○コロナ禍であるため、今年からインスタグラムやピアZZを活用しているが、外出の機会が減ったこともあり、投稿する内容や写真も以前よりは少なくなっているのではないかと思う。そうすると、盛り上がりには欠ける部分があるように感じた。私もいろいろと出かけて魅力を発掘、発信してみたいが、難しい状況である。盛り上がりには欠ける部分をどう補うかについても考える必要があると思う。	竹内構成員
6	○時代に合った取り組みが素敵だと思う。 ○私も何かできることを考えてやってみようと思う。	長尾構成員
7	○投稿からつながるに発展することを意識して魅力発信できると良いと思う。まずはフォロワーを増やすことが必要である。	羽根構成員
8	○地域アイデンティティを醸成していくには、このような身近なところから、経費をかけずに、市民主体で取り組んでいくことは有益だと思う。今後はこれを形式的なもので終わるのではなく、より魅力的な取り組みとして、周知発展させていくことだと思う。そのためには定期的に検証し、見直しをしていく必要もあると思う。	八木構成員

9	○子育て世代が多いのなら、そこを明確にターゲットに打ち出した施策を だせば、他区と違う色が出るのではないか。	佐藤特別構成員
10	○実現できることを着実に実施することが大切である。	藤木特別構成員
11	○北区の魅力に関わるワークショップ、講座など気軽に楽しめるような形 で特に子ども向けにどんどん開催すべきだと思う。北区が、子どもが楽 しめる街をめざしていくということを内外に発信していくためにも、そ の種のコンテンツを充実していくべきだと思う。	堀川特別構成員

3 令和4年度以降の取組（基本方針3）について

■（別紙6）②-1【新規】北区の地域アイデンティティの醸成事業についてご意見をご記入ください。

*特に、「北区の地域アイデンティティの醸成に向けた主な手法」についてご意見をご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	○北区には名所、旧跡がたくさんあるが、一部の人にしか知られていない 面がある。それらを広めていくことが大切である。	天野構成員
2	○①～⑤は良いと思う。 ○⑥の北区の地域アイデンティティの醸成については、基本方針3-2は、 住民の地域への帰属意識や仲間意識、連帯感を醸成する方法の一つであ る地域活動団体への参加を促進するものである。そのために、北区の地 域活動団体の活動内容等を広報紙で定期的に紹介し、また、活動内容等 の発表の場を設け、区民活動支援コーナーの活用やエントランスホール 等の活用を含めて、区民に活動への参加のきっかけの場等を提供する必 要がある。	魚谷構成員
3	○「北区・みんなで写真日記」「北区・みんなで魅力図鑑」にもっと情報が 掲載され、それぞれのライフスタイルやライフステージで共有できる 「北区の楽しい魅力」が蓄積され、更新されていくことを期待している。 ○情報が常に更新されることが北区の魅力に興味のある人、関心のある人 が増えていることだと思う。さらに、情報が一人ひとりで、小さなグル ープで、大きなグループで共有されることで、北区民の「たのしい」瞬 間のつながりがそれぞれで実感でき、それぞれの地域アイデンティティ の醸成につながっていけばと思う。 ○いろんな北区民の「たのしい」瞬間のつながりが語られることを楽しみ にしている。 ○「北区・みんなで写真日記」「北区・みんなで魅力図鑑」を通じた情報の 収集、さらに、その情報の確認のための現地取材や、新たな情報発信方 法としてのアンケートの実施も有効かと思う。	加我座長
4	○北区を「たのしい」でつながる街としてつながっていくには、より多く の人にこの活動を知ってもらい北区に興味を持ってもらう、そして北区	金戸構成員

	<p>が好きだという人が増えると良いと思う。</p> <p>○SNS は得意な人とそうでない人がいる。ゆるくつながるとの記載がある とおり、無理なくやってみようと思えるような形が良いと思う。</p> <p>○発信できる人はどんどん発信していただけたら有難く、今までインスタ グラムやピアッツァを利用したことがない人は、まず登録してみて興味あ る投稿に「いいね」をするのでも良いと思う。</p> <p>○使い方を周知できる方法があるとなお良いと思う。</p>	
5	<p>○写真を利用して自分の意見を発信できる、集まって意見交換ができる、 という手法は、最初の段階では良いのではないかな。</p>	清水構成員
6	<p>○SNS での投稿を集約し、オフ会で語り合いながら魅力を共有できるのは いいと思う。各々の魅力への思いを直に聞くことで町の魅力の新たな一 面を見られるかもしれないと思う。オフ会でなくても zoom などのビデ オ通話を通してでもできることだと思う。</p> <p>○SNS でのコメント付きの写真の集約において、何か冊子のようなものが 作られたりするのだろうか。図鑑もしくはアルバムとして北区の町や人 の大切な思い出にしていけたらいいなと思う。</p>	竹内構成員
7	<p>○オフ会はぜひ行った方が良いと思う。</p> <p>○興味のあるテーマ別に会を設けると良いのではないかな。</p>	羽根構成員
8	<p>○コロナ禍では、なかなか顔を合わせるイベントが困難なので、防災・防 犯や子育てに関するオンライン講座を広く区民に向けて開設してはど うか。</p> <p>○竹内街道のような歴史的に有名な場所があるので、もっと積極的に PR すべき。そしてスタンプラリー等、親子で健康に楽しめるイベントを開 催してはどうか。</p>	坊農構成員
9	<p>○「北区の魅力創出のためのオフ会」は有意義と思われる。単なる発信だ けでなく、様々な意見を付け加え、検証しながら魅力を創出していくこ とは、アイデンティティの醸成にとって大切なことだと思う。</p> <p>○アンケートの実施もより突っ込んだ意見を拾い上げることができ、必要 なことと思われる。</p>	八木構成員
10	<p>○北区の魅力発掘の写真などを集めるなら、その活用方法をもっと考えて はどうか。例えば、小学校や幼稚園に貼りだして、子どもたちと撮影場 所を探しに行ったり、文化財なら学習材料にしたりして、次の世代に街 を知ってもらおう手掛かりにする。</p>	佐藤特別構成員
11	<p>○校区の特徴が出るような魅力のまとめ方をすることが地域の愛着につ ながるのではないかな。</p>	藤木特別構成員
12	<p>○区民の方々に北区への愛着を深めていただくために、北区の魅力を伝え ていくためのさまざまなワークショップ、講座などの催しの開催などが いいのではないかな。オンラインの企画でも構わないと思う。オンライン</p>	堀川特別構成員

	なら、普段リアルな企画に参加しないような方も参加しやすいのではないか。	
--	-------------------------------------	--

■北区の魅力発掘・発信のための新しい取組のご提案があればご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	○SNS は、やはり若者への発信に強い媒体であると感じている。ほとバスのように、実際に現地を訪れることができる手法を検討してはどうか。	天野構成員
2	○コロナ禍では、インスタグラム、ピアZZ等の ICT を活用した取り組みが必要だと思う。WITH コロナ、あるいはコロナの収束後には、ICT 活用と並行して従来の対面（魅力的な場所への実地見聞会（ウォーキング含む）、講座やイベントの実施等）による事業の実施も必要になってくると思う。	魚谷構成員
3	○地域アイデンティティの醸成を実感することは難しく、既に地域アイデンティティは醸成されているかとも思い、まだまだなのかとも思う。 ○取り組みを検証し、見直すべきことは見直すべきかとも思うが、まだまだこれからかと思うので、活動を継続されることを期待している。	加我座長
4	○北区の中でもエリアごとに魅力をアピールしていくのはどうか。 ○ピアZZやインスタグラムで今回は〇〇町を取り上げる、月ごと週ごとなど、管理しやすい周期でその地域の特色、名物、歴史的な場所、景色が良いお勧めしたい場所などをあげていく。 ○町ごとが細かいようなら校区ごとなど取り上げやすい形でやっていくのはどうか。	金戸構成員
5	○住民以外の人視点からの魅力発見も合わせて実施してほしい。特に観光客は異なる視点を持っている。	清水構成員
6	○学校の総合的な学習の時間とコラボレーションしてみるのはいかがでしょうか。例えば、地域について課題を設定して探究活動することもあると思うので、魅力発掘・発信をテーマに考えてもらうのも一つである。 ○広報紙に若い世代（学生）が興味を持つことのできる町の魅力にまつわる場所を設けるのはどうか。例えば、「中高生必見の町の魅力！」といった趣旨のものである。 ○大学のボランティアセンターでも何かできるかもしれない。	竹内構成員
7	○区役所からイベント、講座等の発信も積極的であっても良いのではと思う。 ○区役所で把握されているボランティア団体や趣味の団体（区役所で時々絵画等展示されているのを見たことがある）に情報発信を働きかけるのはどうか。	羽根構成員
8	○写真等での広報活動はとても評価しているが、動画まで踏み込むのも良い。動画で北区の魅力発掘・発信したほうが、より効果的かと思う。	坊農構成員

9	<p>○北区内の特定の場所に広場のようなものをつくれないうと思う。そこでは、散歩に来られた市民が三々五々集まり、交流やつながりができたり、情報交換の場となったりするのではと思う。また、掲示板等を設置し、情報発信や交換に用いてもいいと思う。さらに、簡単なプレハブの小屋のようなものをつくり、そこでは子どもたちが宿題をしたり、おしゃべりをしたり、市民の憩いの場としてもいいと思う。</p> <p>○このようなことは、SNSのアナログ版として、ネットを使えない人たちの交流や情報交換の場として有意義ではないかと思う。</p> <p>○大切なことは、費用をかけずに、運営は行政ではなく民間のボランティア団体等に委ねることである。</p>	八木構成員
10	<p>○今はコロナ禍もあって、特に飲食店等の店舗は厳しい状況にある。持ち帰り店舗だけを対象にするなど、地元店舗で使えるポイントや食事券等を配って、地元活性化を図るのも良いのでは。そこで買ったものをインスタグラムに投稿することで、店舗の広告にもつながる可能性がある。</p> <p>○アプリやインスタグラムと連動でスタンプラリーをするのも良いのでは。公園、役所、文化財など、北区役所が選んだ北区の魅力スポットをまわってもらう内容。その発展で謎解きゲームをするのもたのしい。</p>	吉村構成員
11	<p>○とりあえずスタートさせたインスタグラムやアプリの活用を最優先に、まずは仕掛ける方がもっと地域の資産を掘り起こして魅力のタネをみつけておくことが次の動きにつながると思う。</p>	佐藤特別構成員
12	<p>○単なる情報発信も大事ではあるが、情報を発信するのであれば、ちょっとしたものばかりではなく、何か催し（お金をかけないでできるものもたくさんあると思う）を多数企画して、それらの情報を発信していくことも必要だと思う。</p> <p>○さまざまなコンテンツを組み合わせることで情報発信していく、個店の特集は行政では難しいということであれば、ピアッツァを活用して、コミュニティデザイナーの方をお願いするなど、いろいろと工夫ができるのではないかと思う。例えば、ケーキ屋特集、和菓子屋特集や、北区内に棲む動物、北区内の公園に咲く花など、複数のコンテンツを組み合わせることで情報発信が考えられる。</p>	堀川特別構成員

■その他、北区の魅力発掘・発信・創出、地域アイデンティティの醸成についてご提案やご意見があればご記入ください。

No.	意見内容	意見者
1	<p>○北区は若者層が多いため、若者層へのアピール方法をもっと検討してはどうか。</p> <p>○中百舌鳥駅を中心とした活性化に取り組むことが北区の魅力の創出へつながるのではないか。</p>	天野構成員

	○魅力の創出を含めて、北区をより良くしていくためには、様々な方からの意見を反映していく必要がある。	
2	○コロナ禍では、感染症とうまく付き合いながらの生活が当面続くと言われており、地域で過ごす時間が増えてくると思う。地域の魅力発掘、発信の取り組みは、今まで気づかなかった地域での暮らし方を気づかせてもらえる良い方法と思う。 ○本取り組みが北区で楽しく暮らす方々にとって有益な取り組みとなるよう、続けられることを願っている。	加我座長
3	○北区の「たのしい」と言われると漠然とした感じがするので、季節ごと、エリアごとなど少し絞ってテーマを決めてピアッザやInstagramや広報で募集して話題を盛り上げる。 ○知ってもらうこと、興味をもってもらうこと、好きになってもらうこと、北区に住んでよかった、住みたい、縁があつてよかったと思えるように場を提供することは大切だと思う。	金戸構成員
4	○北区役所は、とても積極的に取り組んでいると思う。大阪市内ではそこまで行政が区民のことを考えてこのような実践をしていく区はほぼないと思う。 ○民間の旅行会社のクラブツーリズムは、お客様が企画をする。自分のしたいことで部をつくり、活動を行っているが、参考になるところがあれば良いと思う。	清水構成員
5	○地域を愛するだけでなく誇りに思い、地域アイデンティティを醸成して行ってほしいと思う。 ○若い世代、特に学生に向けてのアプローチも重視するべきだと思う。	竹内構成員
6	○コロナ禍でなかなか難しいところもあるが、個人の投稿の自己満足で終わってしまわないよう、市民同士の交流につながるものになれば良いと思う。 ○私もこの機会にInstagramとピアッザに登録した。	羽根構成員
7	○大泉公園や金岡公園という広い場所はある。広域避難場所の指定になってはいるが、一般的な避難場所とは一味違った避難者が快適に過ごせる場としての仕組みを考える。 ○どこもしていない取り組みをいち早く着手する。例えば、ドローンを使ったバーチャル遊覧飛行、古墳めぐり等々	坊農構成員
8	○北区には古墳等の歴史的な遺跡、ふとん太鼓のような魅力的な祭等、観光資源は十分にあると思う。あとは、これらをどう発信し、連携させていくかということだと思う。中百舌鳥地域を集客拠点として構想を考えていくことも選択肢の一つとして検討してもいいかと思う。	八木構成員
9	○地域での様々な取り組みを広げたり知ってもらったりするためには、北八下校区の公共交通の利便性の向上が不可欠である。	藤木特別構成員

10	<p>○InstagramやピアZZを活用することにより、さまざまな情報は得ることができると思うが、それをそのまま発信するのではなく、これらをうまく組み合わせ、みんなが興味を持てるような形で発信していくことが大事だと思う。</p> <p>○いろいろな特集に仕立てていって情報発信していく方が、手間はかかるが、さまざまな好奇心をかき立てることができるのではないか。</p>	堀川特別構成員
----	---	---------